

夏

2017年5月28日(日)、新しく引越されたインターズさんのセミナールームにて、第26回 SAMI総会と無料セミナーが開催されました。北は北海道から南は岡山まで、全国各地から企業の方々、大動物・小動物各分野の皆さん、総勢28名にお集まりいただきました。年々、賑やかで有意義な総会になっていて、とても嬉しく思います。無料セミナーに来られなかった方のために、当日発表されたスライド等を記事にしましたので、どうぞお役立てください。9月にWSAVA(世界小動物会議)がデンマークのコペンハーゲンであります。楽しい情報があたらお伝えしますネ! SAMI事務局



NEWS

5月28日(日)動物医療発明研究会・第26回総会が開催されました

1/会長挨拶:

動物を飼って、みつめたり、なでたり、だいたりすると...、オキシトシンが出ます。このホルモンは幸せホルモン、絆ホルモン、愛情ホルモンとも呼ばれていて、やる気の出るドーパミン、リラックスするセロトニン、おだやかになるα波が出るので心がアップします。

こんなことも飼主さんに伝えて、楽しい経営ができるよう皆でアイデアを出し合いましょう。

2/ミニ自己紹介(順不同)

皆さんのミニ自己紹介と自己アピールタイム

3/活動報告:

★ニュースレター SAMI NEWS 3回発行 No.43 (2016.4.5)・No.44 (2016.8.8)・No.45 (2017.1.5) ★無料セミナー付き SAMI総会 (2016.5.15) ★ボランティアセミナー:小さなアイデアと発明研究会の宣伝を交通費も

清水動物病院持ちで全国各地に伝えました。

4/活動予定:

★ニュースレター3回発行予定★内科学アカデミー2018年2月/教育講演(永富先生・山口先生)★ボランティアセミナー(宝塚、北海道、横浜など)

5/無料セミナー:

- 1/『Q熱のこわい話』体験談 浅井 洋子先生(宇都宮)
- 2/『アイデアが常識を変える』 小島 大さま(奈良)

6/ミニ懇親会:

ご参加の皆さんで、和気あいあいと名刺の交換、そして大いに親睦を深めました。

7/二次会:

有志で土井さん推薦のイタリアンで楽しく食事とお酒をいただきました。

♡ インターズさん
いつも会場のご提供を
ありがとうございます!

総会に来て下さりありがとうございます!
インターズさん、いつもありがとうございます!
1:05 会長あいさつ 清水 邦一
Q 二次会に行きたい人? (4人)
1:10~ ミニ自己紹介 1人30秒
1:35 会計報告 清水 邦一
活動報告
1:40 浅井先生(宇都宮)
「Zoonosis Q熱のこわい話」体験談
2:30~40 Q&A
2:40~50 休憩
2:50 小島様 WING(奈良)
「アイデアが常識を変える」
3:30~40 Q&A 販売(特別価格)
3:40~4:30 名刺交換 片べり Time
4:30 片づけ 5:30~ 二次会(有るイラン)
★春のスタート一冊を、何か送る! 注文は速くお願い!

動物医療発明研究会・第26回総会にご出席いただいた皆さま

【臨床(開業関係)】

浅井 洋子先生/うつのみやペットクリニック(宇都宮)
板垣 昌志先生/日本IMI研究所(山形)
小宮山 典寛先生/三鷹獣医グループ(東京)
佐藤 希樹先生/あおぞら動物病院(仙台)
菅又 恒子先生/エルザ動物・小鳥の病院(西東京)
比留間 俊美先生/エルザ動物・小鳥の病院
図師 明子先生/獣医師・針灸(岡山)
中畑 雅紀先生/中畑動物病院(小樽)
林 律子先生/もものきペットクリニック(町田)
福山 美津子先生/リバーサイド動物病院(墨田)

宮澤 育也先生/茶白山動物園(長野)
村上 義智先生/桜並木どうぶつ病院(伊東)
安田 幸宏先生/やすだどうぶつ病院(札幌)
山口 潤先生/希望の丘どうぶつ病院(石川)
清水 邦一/清水動物病院(横浜)
清水 宏子/清水動物病院(横浜)

【企業】

小野寺 由美子さま/監製浅井フーズクリエイション(東京)
中村 宣司さま/監製浅井フーズクリエイション(東京)
糟谷 卓摩さま/監製医療情報研究所(奈良)
小島 大さま/監製ウイング(奈良)

富士森 真也さま/シンメディコ監製(松戸)
片岡 司さま/千寿製薬監製(大阪)
鍵和田 哲史さま/ゾエティス・ジャパン監製(新宿)
佐藤 優作さま/ニッケンカミソリ監製(岐阜)
林 裕之さま/林刃物監製(岐阜)
諸橋 悠一さま/鑑犬と生活(恵比寿)

【出版社】

土井 英行さま/インターズ(東京)

*順不同





ここぞという時に使いたい 特徴的な縫合糸

希望の丘どうぶつ病院 山口 潤先生

小動物で多く使われる縫合糸として、2-0から4-0程度の太さのモノフィラメントの非吸収糸、吸収糸を中心に、術者の好みによりブレイドの縫合糸などを揃えている病院が多いと思われますが、その他にも、特徴的な縫合糸で使用しやすいものがあるので紹介します。



- ①エルブポリエステルテープ
- ②PDSプラス
- ③PDSII(4-0、13mm 1/2丸針)
- ④エルブ糸付縫合針ナイロン(6-0、ヘラ型針)
- ⑤ブレードシルク
- ⑥バイクリルラピッド
- ⑦バイクリル(6-0、ヘラ型針)

①手術中の神経の保護、血管の仮結紮などに使用しています。教科書には同様のものとして「臍帯テープ」と記載

されることもあるので、注意が必要です。また、生体内への留置は、素材としては問題なさそうですが、用途外使用であることを留意しておく必要があります。

②抗菌縫合糸であり細菌のコロニー形成を抑制し、手術部位感染の発生率を下げる効果があるので、消化管など、汚染のリスクの高い部位の手術では積極的に使用しています。同様に抗菌作用のあるものとしてブレイド縫合糸のバイクリルプラスがありますが、ブレイドなため使い勝手に癖があり、抗菌作用も劣るため、抗菌縫合糸の利点を最大限に引き出すにはPDSプラスの使用が推奨されると考えられます。

③著者の調べた中では、4-0の針付縫合糸の中では最も小さい針が付いた製品です。4-0程度の強度が必要だが、小さい針でコンパクトなストロークで縫合したい場面は小動物の外科では多く、使い勝手の良いモノフィラメント吸収糸ということもあり、著者は気に入って使っています。

④軟質絹糸は硬質絹糸と比べ組織反応に伴う炎症が少ないため、大血管の遮断や組織を巻き込む結紮など、絹糸の強い結紮力が必要な場合にはブレードシルクを使っています。

⑤吸収が非常に早く2週間で抗張力は0%になります。術創の治癒期間とだいたい一致するため、無麻酔で抜糸ができない場合などに使用しています。

⑥⑦おそらく6-0の太さの縫合糸は肉眼で正確に扱うことのできる最小限のサイズであり、眼科で使用できる最大限のサイズと考えられます。ヘラ型は眼科や形成外科でも使用されている針であり、抜糸の必要のない吸収糸としてはバイクリルが選択肢として挙げられ、抜糸のできる部位ではエルブのナイロン糸付縫合針が比較的安価です。

第26回総会での発表

小島さんにプレゼンしていただいたスライドの一部です。全体はホームページに掲載しますので、ご覧ください。

アイデアが常識を変える



救急救命士

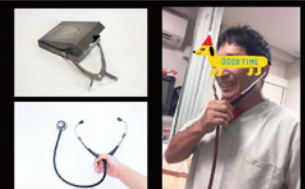


聴診器を使用する際に
片手で脱着できたら助かる

STETHOWING ステソウイング



聴診器 = STETHOSCOPE
+ WING
造語 商標登録



STETHOWING

特徴 STETHOWING

- ◎片手で聴診器の脱着が可能
▶片手が自由になり、聴診器装着時の動きが楽
- ◎取り付けワンタッチ
▶現在使用している聴診器に取り付け可能
- ◎抗菌素材使用
- ◎特許取得(特許第5512875号)
▶米国・欧州特許出願中

アイデアが常識を変える

不快適 ▶ 不快適 ▶ 快適
想い = アイデア ▶ 常識

以前は聴診器を両手で
使っていたんだって



★近年マダニウイルスによる重症患者の報道が目立つようになりました。次号では総会でQ熱の無料セミナーをしてくださった浅井洋子先生の発表を掲載します。

【新入会員・自己紹介】



小島 大さん
株式会社 WING
(奈良県生駒市)



☆会社の紹介

平成26年4月に特許を取得したことがきっかけとなり、平成27年9月8日に株式会社WINGを設立致しました。生まれ育った奈良の地で、何か人の役に立ち、業界の常識が変わる製品が作れないかと10数年模索していました。現在は奈良で生まれた製品が全国に広がっていくことに嬉しさを感じ、日々走り回っています。

☆ポリシー

動物と飼い主様の最後の砦として最前線で治療にあたられている先生方にストレスのない診察の環境を作り、治療に専念していただくことにより、動物と人の幸せに繋げる。

☆過去の発明・発見・アイデア自慢

今お使いの聴診器に取り付けるだけで、聴診器の開閉・脱着が片手でできるアタッチメント『STETHOWING』（ステソウイング）を開発しました。

☆そのきっかけ生まれた理由

私の幼馴染が救急救命士をしています。約10年前から、救急車の中で聴診器を使用する際には片手がふさがっていることが多いため、聴診器を耳にセットするためにもう一人必要になると聞いていました。切迫した状況の中聴診器をセットされるまで少しの時間でも待つ時間があり、血液や泥などで非常に衛生状態も不安があったそうです。約6年の月日をかけて試行錯誤しながら製品を作り平成26年4月に特許を取得しました。製品が完成し、私の実家が犬のブリーダーをしていたことから獣医の先生方に使用していただきたいと思うようになりました。動物たちや飼い主様にとって、獣医の先生方は最後の砦です。常に何とかしようと全力で治療にあたっている先生方を私は見てきました。動物に手を添えながら、抱っこしながらでも片手で聴診器の開閉や脱着ができることは先生方に喜んでいただけ、その結果、動物たちや飼い主様の幸せに繋がると嬉しく思います。

☆皆さんに役立つ失敗談

20代の頃に特許を2個取得しましたが、使い道がなく製品化もなく、ただただ資金を使って特許を取得しただけという経験があります。

☆これからやりたいこと目標

聴診器を片手で開閉や脱着ができるという概念がありません。近い将来、聴診器には『STETHOWING』（ステソウイング）が当たり前になり、「昔はコレがなく両手で脱着してたんだって」と言ってもらえることです。

☆今、夢中になっていること、取り組んでいること

まさか自分が医療の世界と関わることになるとは思って

もいませんでした。今多くの先生方とお話させていただき、先生方の思いや考え方を知ることが楽しくて仕方ありません。

☆発明研究会の皆さんに伝えたいこと

清水邦一先生、宏子先生からご紹介していただきました。アイデアは多くの人々や動物たちを幸せにします。皆さまと多くのアイデアを共有させていただきたいです。宜しくお願い致します。

☆発明研究会で自分がやりたいこと発表したいこと

アイデアは常識を変えることができます。



次年度も、第14回 日本獣医内科学アカデミー学術大会での教育講演に参加します。

ぜひ応援に来てください。よろしくお願いします。

日程：2018年2月18日（日）午後～／2コマ

講演 ① 小さなアイデア、快適診療、効率アップ

講師：永富 丈先生（長崎・アトム動物病院）

講演 ② 小動物診療におけるポータブルPOCT機器の応用

講師：山口 潤先生（石川・希望の丘どうぶつ病院）

*モデレーター：清水邦一・清水宏子（横浜・清水動物病院）



お問い合わせ／日本獣医内科学アカデミー学術大会事務局まで
<http://www.jcvim.org>
TEL: 03-5657-0773

★ セミナー開催のお知らせ ★

発明研究会のアイデアを取り入れたセミナーを清水動物病院で頼まれました。お近くの先生、動物看護師さん、興味ある方どなたでもどうぞ。

10月1日（日）中野サンプラザ 13:00～17:00

「さあ始めよう ウサギの優しい診療」～検査から治療まで～

11月5日（日）札幌ロイトン

獣医師＆看護師向け「愛のこもった診療の工夫」9:00～11:00

… ハートで勝負 人・犬・ネコ・エキゾ etc …

獣医師、看護師向け「うさぎ好き集まれ」15:30～17:30

… うさぎに優しい診療 …

ニャンコのつぶやき

窓の外
チツチツと鳴く声に
チャツチャツと口がなる
狩猟本能むきだしに
一度は出たい籠のネコ



コーナー 11

佐藤犬猫病院（三郷市）佐藤 剛作

ワンコのつぶやき

足のうら
なんだかおいしい
味がする
なめてもなめても
あきないヨ



【新入会員・自己紹介】



板垣 昌志 先生
日本 IMI研究所
(山形県上市市)

S29.2.4 山形県山形市生まれ
S51.3.31 日本大学農獣医学部
獣医学科卒業

S51.4.1 NOSAI 山形中央家畜診療所勤務

H15.3 日獣大より獣医学博士号授与「乳牛の潜在性乳房炎と乳頭口異常の関連についての研究」H26.3.31 NOSAI 山形退職
H26.4.1 日本 IMI 研究所を起業し開業 現在に至る

☆診療所紹介

日本 I (Itagaki) M (Masashi) I (Itagaki) 研究所
日本 I (Intra) M (Mammary) I (Infection) 研究所
上記の両方の意味を持つ名称で、診療をしない診療所であり、家畜関連のコンサルタント業務、家畜の病気を予防する器具機材、サプリメントの販売を主な業務としています。

☆ポリシー

畜産農場の問題点を改善し、経営が安定するようにサポートする。すなわち痒い所に手が届くような安心感と顧客満足度の向上を目標とする。

☆過去の発明・発見・アイデア自慢

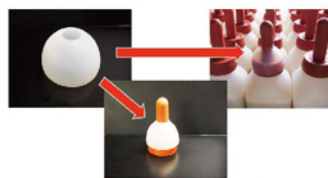
① 牛乾乳期分娩直前治療

牛の乾乳期は間触れる、搾ることを、約100年禁止としてきた。しかし、そのパンドラの箱を開封し、あえて搾乳することで乳汁の変化を診断に応用し、分娩前に治療することで分娩後の乳房炎を半分にすることができた。現在では、約1/3の酪農家が実践している状況である。

② 牛乳房炎に対するラクトフェリンの応用。

in vitroでは、ラクトフェリンの多機能が証明されているが、in vivoで立証されず、医薬品として認可されていない現状の中、牛乳房炎におけるラクトフェリンの生体反応を検証。

③ 子牛の人口哺乳時の誤飲を予防するパーツを考案



子牛の呼吸器病が世界的に問題になっているが感染の前に起こる物理的変化（咳込み・鼻鳴り）に注目し、予防器具を考案。

マミーズ・マンマプラス (特許申請中)

上記3個が私の発見、発明であるが、常にマイノリティーに身を置き、他の人が観察しないところを見ることが発想の転換ができたと思います。

☆今後の目標

産業動物の疾病を10%抑制することで、生産性を10%アップさせ、儲かる畜産に貢献したい。

- ① 獣医師の視点での病気を予防するサプリメントを開発・販売
- ② 呼吸器病を予防する人口哺乳用乳首の開発
- ③ 牛の呼吸器病・乳房炎の新たな治療法の開発

☆今、夢中になっていること、取り組んでいること業務関係

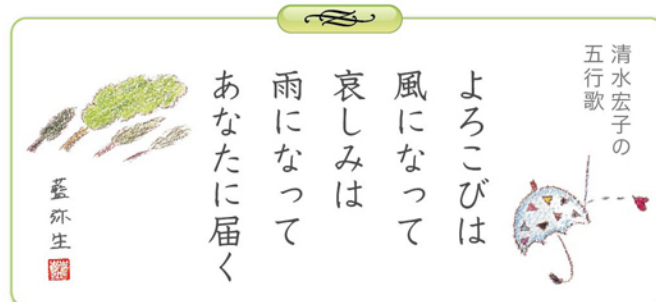
- ① 産業動物、畜産農家のニーズを探ること。
- ② 自分が開発した商品が大ヒットし、畜産農家が大喜びしているところを妄想すること。

趣味

膝の手術後、ゴルフに夢中です。



〒999-3103 山形県上市市金谷783 板垣 昌志
E-mail: x55559@bma.biglobe.ne.jp
TEL: 090-7528-8178 FAX: 023-673-4788



新入会員

佐藤 優作さま／ニッケンかみそり齧(岐阜)「きれい三方善しを追求する」を経営理念としています
和田 功先生／うぐいすの森動物病院(宝塚) 皆様のパートナーの健康を皆様と共に考えていきます
諸橋 悠一さま／有難犬と生活(恵比寿) Dog's Life・Cat's Lifeをスタイリッシュにコーディネート
図師 明子先生／鍼灸師(岡山) 東洋医学、鍼灸を活かせる臨床獣医師をめざしています

動物医療発明研究会のホームページ。会員病院の登録もできます。

hp@ispecial.co.jp



会員の病院・施設名、郵便番号住所、TEL&FAXとホームページアドレスを掲載します。
ご希望の場合は、「SAMI-HP掲載希望」と明記して、データをメールにて、上記アドレスまでお送りください。

(運営受託: 株式会社アイ・スペシャル)



動物医療発明研究会事務局ではお役立ちのアイデアやエピソードを随時募集しています。メール、FAX、郵便でも受け付けていますのでお気軽にお寄せください。

SAMI NEWS 47号 発行日: 2017年8月吉日

発行所: 動物医療発明研究会事務局

発行人: 会長 清水 邦一 / 編集人 ノーマデザイン 野間 忠博

事務局: 230-0061 横浜市鶴見区佃野町3-3 清水動物病院内

メール: sah@vet.ne.jp

FAX: 045-583-3594 (電話: 045-583-3738)